

議会に対する意見、提言

- ①この様な機会は、もっと多い方が良い。
- ②市政の在り方として「見える化」と言われているが、市民が知ることが出来る仕組みと意見を言える場を持ってほしいので、このような機会が設けられることは良いこと。
- ③新市庁舎の在り方について、十分に時間を掛けて検討して欲しい。
- ④市の将来を考えた時、議会報告会に若者が居ないことに不安を感じる。
- ⑤若者との対話を座談会として開催して欲しい。
- ⑥参加者層が偏っているのは仕方ないが、新市庁舎についての意見にもバラつきが多く、「市民の意見」としてどのようにまとめていくのか難しさを感じた。
- ⑦「重点テーマ」を絞った上で、時間配分を考えて欲しい。
- ⑧議会で推進する「重点項目」を絞って進めて欲しい。3つのテーマを全てクリアにするには時間が短いのではないか。3つの内の1つについて意見交換が行われると捉えていたので失望した。また、長久手市のことばかりでなく、大局的な視点で国政についても話し合いたい。
- ⑨初参加のため今回だけでは精査できないが、前回の議会報告会で受けた要望から「改善できた」内容についての報告が無かった。
- ⑩市長は市民に丸投げしすぎだと感じた。市がより積極的に率先して行動すべきではないか。
- ⑪各地域に出向いて議会報告会を開催してはどうか。以前、実施した時は参加者が少なかったが、身近な問題を取り上げれば、参加者が増えるかもしれない。

⑫予算、決算委員会の議事録の整備（本会議並に）。議会だより、議会の府に相応しく、発言者、内容を掲載すべき。

⑬プロバスケットチーム「Bリーグ」を招致できるような、5千人を収容出来る規模の体育館を作って欲しい。市民が老若男女問わず熱中できるのはスポーツであり、鹿島市が全国的に有名になった理由はプロサッカーチーム「鹿島アントラーズ」のお陰である。国内で競技人口が最も多いのがバスケットボールであり、1部リーグのチームはアリーナ規模の体育館の確保で苦労しているが、5千人程度の体育館であれば、長久手市で運営出来るのではないか。またリニモ駅の近くに設置すれば、リニモの乗車率も上がるのではないか。

⑭ニコチンタール汚染に関わるタバコの害改革及び、自動車のディーゼル排気ガス汚染による血管の目詰まりから起こる血流不良、酸素不足からなる慢性閉塞性肺疾患(COPD)、肺気腫や肺がん等、次世代高齢者の福祉的予防の観点から医療と事業者の構造改革を求めたい。具体的には原子力政策への対応と同等に「JTたばこ産業廃止法案」と、「能動喫煙者とヘビースモーカー対応強化事業法案」、「がん医療福祉強化法案」を要望する。

⑮地方議会ランキングが6月13日付けの中日新聞に掲載された。愛知県内で1位、全国ランク26位となった岩倉市議会は「議会機能強化」と「情報共有性」等がランキングに影響したという点で参考にしてほしい。長久手市議会として出向き、調査してはどうか。

⑯尾張旭市議会事務局から参加したが、議員が主体的に進めていて素晴らしいと感じた。尾張旭市議会の参考にしたい。